



鯨山

R05.9.26 令和5年9月号②

〒327-0817 佐野市伊勢山町 1534 TEL 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565

<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/>

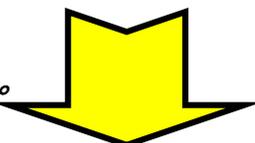
「しっかり学ぶ、東っ子」の育成

栃木県では、本県児童生徒の学力向上を目指し、児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にすること、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築と運用に取り組むことを目的として、4・5年生を対象に「とちぎっ子学習状況調査」を実施しています。また、全国では6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しています。小学生の調査内容は、国語、算数、理科の前学年までの内容です。お子様にも個人票を返却してありますが、各学年の概要は以下の通りです。この結果は学力の一部を数値で示したもので学力や学習状況のすべてではありませんが、本校でも結果の分析を行い、今後の授業改善と子どもたちの学力向上のために取り組んでまいります。皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



	4 年	5 年	6 年
国語	◇平均正答率は、県を下回っている。 ○段落ごとに自分の考えをまとめたり、文中の言葉について複数ある意味の中から正しい意味のものを選んだりすることはよくできている。 ●文章中から適切な理由を見付けることや聞き取りの問題、ローマ字の表記・理解に課題が見られた。	◇平均正答率は、県とほぼ同程度だった。 ○情報を読み取り、条件に気を付けて、自分の考えを書くことができている。 ●文章中の修飾と被修飾の関係を捉えることや文章を読んで感じたことや考えたことを共有することに課題が見られた。	◇平均正答率は、全国をやや下回っている。 ○漢字の読み書き、敬語の使い方や様々な情報を関連付けて考えることがよくできている。 ●文章の内容を理解し要約すること、自分の考えを整理して書くこと、話し手の考えと自分の意見を比較しながらまとめることに課題が見られた。
算数	◇平均正答率は、県とほぼ同程度だった。 ○長さの計算や時刻の問題についての知識は身に付いている。 ●円に関する問題や答えの求め方を文章で説明することに課題が見られた。	◇平均正答率は、県とほぼ同程度だった。 ○概数を利用することや小数のしくみ、大きい数のしくみなどはよく理解している。 ●異分母分数の大小関係や小数のかけ算、割り算の計算に課題が見られた。	◇平均正答率は、全国を下回っている。 ○比例の表の読み取りや図形の名称についてよくできている。 ●四則演算のきまりの理解、三角形の面積の理解、比例の表から規則性を表現することなどに課題が見られた。
理科	◇平均正答率は、県とほぼ同程度だった。 ○「昆虫の体のつくり」や「音」についての知識は概ね定着している。 ●「方角」や「磁石の性質」の理解に課題が見られた。	◇平均正答率は、県とほぼ同程度だった。 ○全体として、説明をする問題はよくできている。 ●「水のゆくえ」のろ過や粒の大きさと関連付けて考える問題に課題が見られた。	※今年度は未実施

これらの結果を受けて
以下のように取り組んでいきます。



＜本校の重点的な取組＞

	＜4年＞具体策	＜5年＞具体策	＜6年＞具体策
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使った学習を通して、キーボードのローマ字入力に慣れさせる。 ・主語述語を意識した文章作りや物語文の読み取りと、メモを取る活動を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の趣旨や他の考えとの共通点などを捉えることが苦手なので、字数制限などを設けて要約させたり、書いた要約文をお互いに比較し考えを練り上げたりする機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字数に条件を設けて記述させる際に、原稿用紙を活用し、児童の意識を高める。 ・自分の考えと相手の意見を比較し、考えを深める活動を増やす。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を要する場面では、型を提示し、ペア、グループで説明することを通して、分かりやすい説明の仕方を体感させていく。 ・具体物を使って実感を伴う学習展開を工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算プリントなどを用いて復習の機会を増やし、自ら進んで復習に取り組むことができるように、例を紹介する。 ・間違えた計算の原因をしっかり確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを用いて考えを言葉や図に表す活動を増やす。 ・理解が不十分な学習内容について、復習プリントなどを使い、練習に取り組ませる。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・単元により児童の得意不得意が変わるので、多くの単元で児童の得意を生かした学び合いの時間を確保し、基礎基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復習している児童や児童のやり方を学級で紹介し、復習を奨励する。 	※今年度は未実施

◎3年生 ハウス食品工場見学！

コロナ禍の数年間リモートで行っていた工場見学ですが、訪問しての見学を久しぶりに実施することができました。栄町にあります「ハウス食品関東工場」で、あまり見ることのできない工場の内側を見学させていただきました。スパイスの匂いを嗅いだり、カレールウができるまでの工程を見たりして子どもたちも楽しそうに見学していました。リモートのよさもありますが、現地を訪問することでしか学べないものがあると子どもたちの表情からあらためて感じました。



◎「食に関する学習」

南部給食センターの学校栄養士の先生による「食に関する学習」を各学年ごとに実施しています。12日には1年生が箸の正しい持ち方や食事のマナーについて、14日には2年生が食事における野菜の役割などについての学習をしました。先生の問いかけに対して、真剣に考え、意欲的に学んでいる姿が印象的でした。今後、他の学年でも順次実施していきますが、「早寝・早起き・朝ごはん」のよい習慣づくりにも、食事は欠かせません。食に関する意識を高めて、バランスのよい食事や健康なからだづくりを子どもたちが自分ごととして考えてくれることを期待しています。



◎6年生 金融教育

県の金融広報アドバイザーによる「正しく学ぼうお金の知識」の授業を実施しました。物々交換の時代から、石や貝、金属などを用いた貨幣が登場した理由を学び、身近な貨幣に関するクイズやお金の使い方でのよい思い出や悪い思い出など、自身の生活体験を振り返りながら、お金に関する学びができました。お小遣い帳もいただきました。よりよいお金の使い方につなげてほしいと思います。

